

オトコエシ



スイカズラ科 男郎花

秋の七草の一つであるオミナエシ（女郎花）の花は黄色ですが、オトコエシは白花です。子房に接する小苞が花後大きくなって果実を取り巻き、うちわのような翼になります。茎を折って生けた水は腐った豆醬のような嫌な匂いがし、これは足の裏の匂いの原因でもあるイソ吉草酸が含まれるためです。全草を乾燥させて煎じたものを「敗醬」といい、解毒、利尿作用を持つ生薬として使われて来ました。

10月に見られる花

リンドウ・フジバカマ・イヌタデ・ノダケ・ゲンノショウコ・オケラ・ノブキ・コウヤボウキなど。

